

10月21日

抱返り溪谷
を歩いてきたよ!

抱返り溪谷は秋田県仙北市にある溪谷で紅葉の名所として有名です。今日はまだ少し見頃には早かったけれど、紅葉まわりの期間中でバスや車がたくさん停まっていた。見頃は10月終わりくらい。

〈交通〉

八幡平市から所要1時間50分。
国道46号線を角館方面へ。

★途中には田沢湖や秋田芸術村、もう少し進むと角館武家屋敷もあるよ!



吸い込まれそうなくらいお水が青い...



「抱き返り」の由来

「神の岩橋」秋田県で最も古い吊橋で、大正15年(1926年)完成です。

★ 諸説あるようで、抱返り神社の前に書いてある由来と、パンフレットに紹介されている由来とちがうことが書いてあるので両方紹介します♪

〈抱返り神社説〉

康平5年(1062年)前九年の役で源義家が厨川の柵(現・盛岡市)の安倍貞任を攻める際に、この地から川を渡らなければならず、行き帰りの川の流が静かであることを願って祈願したイム様を懐に抱いて戦に臨んだ。その後、戦に勝利して再び無事にイム様を抱いてこの地に戻ることができたことから、この地を「抱返り」と名付け、ここに抱返り神社を建立した。(抱返り神社の前の看板に書いてあるよ！)



▲ 抱返り神社

〈パンフレット説〉

昔は谷を抜ける山道がとても狭かったため、すれ違うときお互いを抱くようにして通ったことから名付けられた。

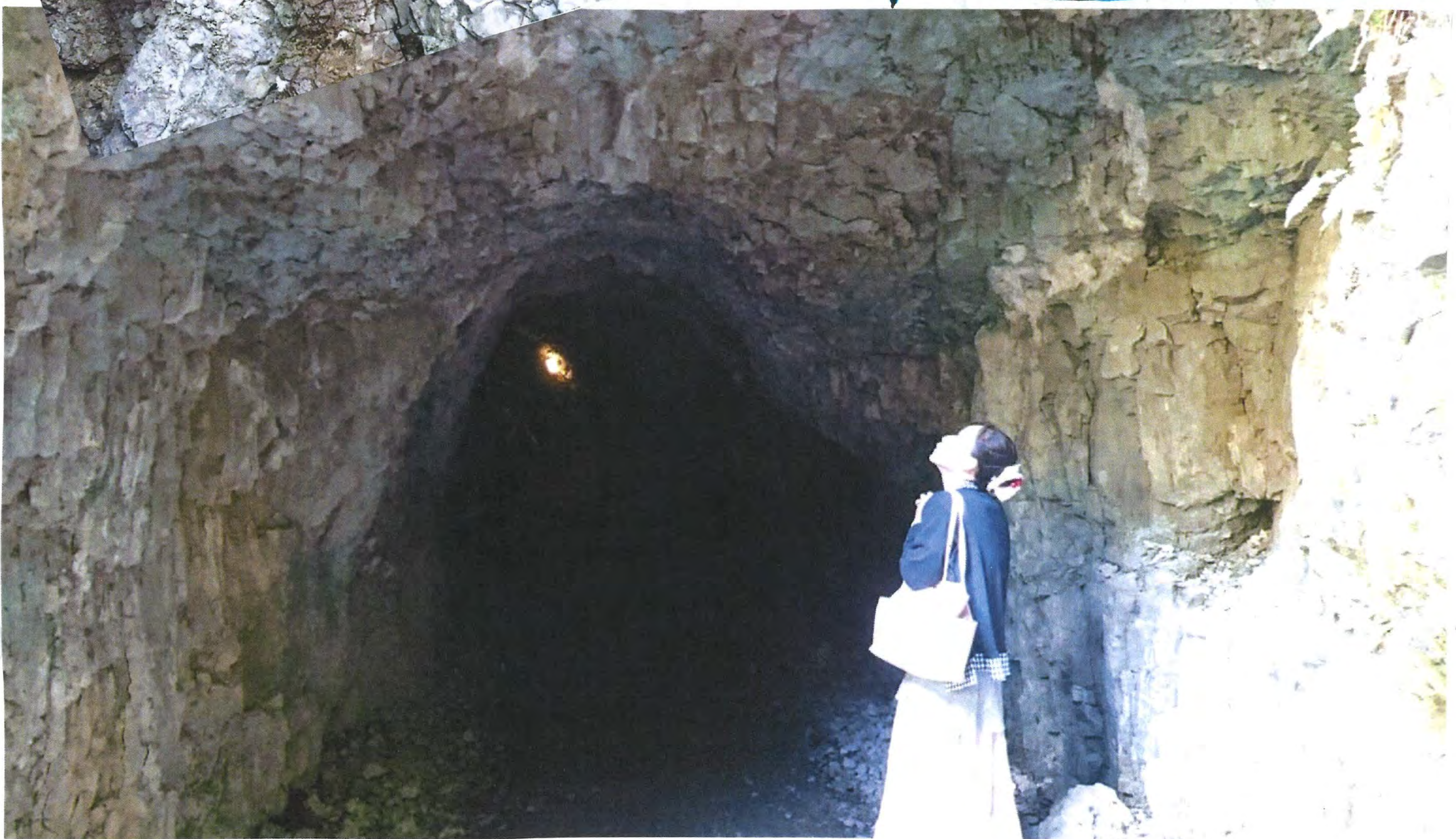


「凝灰岩」は層状にはならないけど、水の底などでゆっくり固まると、地層のようになるそうです。



遊歩道の途中にはこんな手掘りのトンネルが何か所か出てきます。壁の石は六角形の結晶形をしています。「凝灰岩」といって、火山灰が固まってできたもので、とてももろく角虫るとぼろぼろ崩れてきます。

我ながら旅行雑誌に載ってそうない写真だな〜と思っています(笑)
(※撮ったのだんなさんだけど。)



抱き返り溪谷はこんなところ

★抱返り溪谷自体は全長約10km。田沢湖と角館をむすぶ"玉川"が流れています。以前は通り抜けできたのですが、崩落などのため、現在は回雇貝の滝までの約1.2kmを歩くことができます。



莫産の石



▲莫産の石(ござを10畳ほど敷けるくらい大きな岩です)

なんで青いの?

抱返り溪谷を流れる玉川の水が"とてもきれい"な水で川底の石が白いことが関係しています。光のうち青い光は水の中でもまっすぐ進みます。他の色の光は水面で反射してほう性質を持っています。青い光だけが川底の白い岩に反射して水面に出てくるので、水の色が青く見えるんです。

▼誓願橋から見た溪谷。ポスターにも採用されている美しい景色です。



みかえり 回顧の滝

何度も振り返って見たくなるほど美しい
ことから名付けられた滝です。
正確な高さはわかりませんが、見た感じ
落差30mくらいはありそうです。
ここが抱返り渓谷散策路の2018年
現在行ける最終地点です。



▲ 岩に根をはるアスナロ。た〜ましい!!!



▲ 遊歩道



▲ 滝のところ、写真撮影の川尻番待ちでした。

誓願橋

散策路の崩落によって
架けかえられた新しい吊り橋です。
橋を渡るとすごい揺れます。
酔いそうになります。橋の上からの
景色がすごくきれい(左ページ)
なので写真を撮っている人が
たくさんいます。
うっかりスマホを落とさないように
気をつけましょう!!



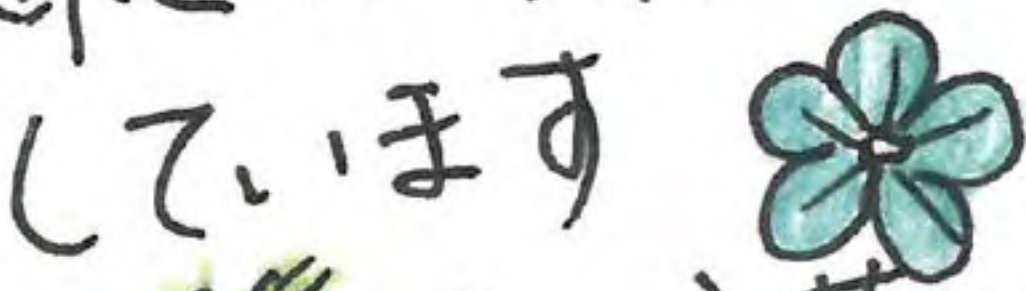
ぼんぼんぼんして、たかなが焦点が
合わない💧

コケに注目してみた その②

m(--)-m 注目してみたのはよいが、似たようなのがいっぱいあって特定できない。まだまた、お勉強が必要ですねえ。

ケチョウチンゴケ

緑色のお花みたいな形をしています



こういう葉っぱを伸ばして、
中間をふやします。

ナガヒツジゴケ

かな？

つやつやしていて、毛糸
みたいな触り心地です。

コケシバ

「コケ」という名前が
付いているけど、コケみたいな
雰囲気のみです。

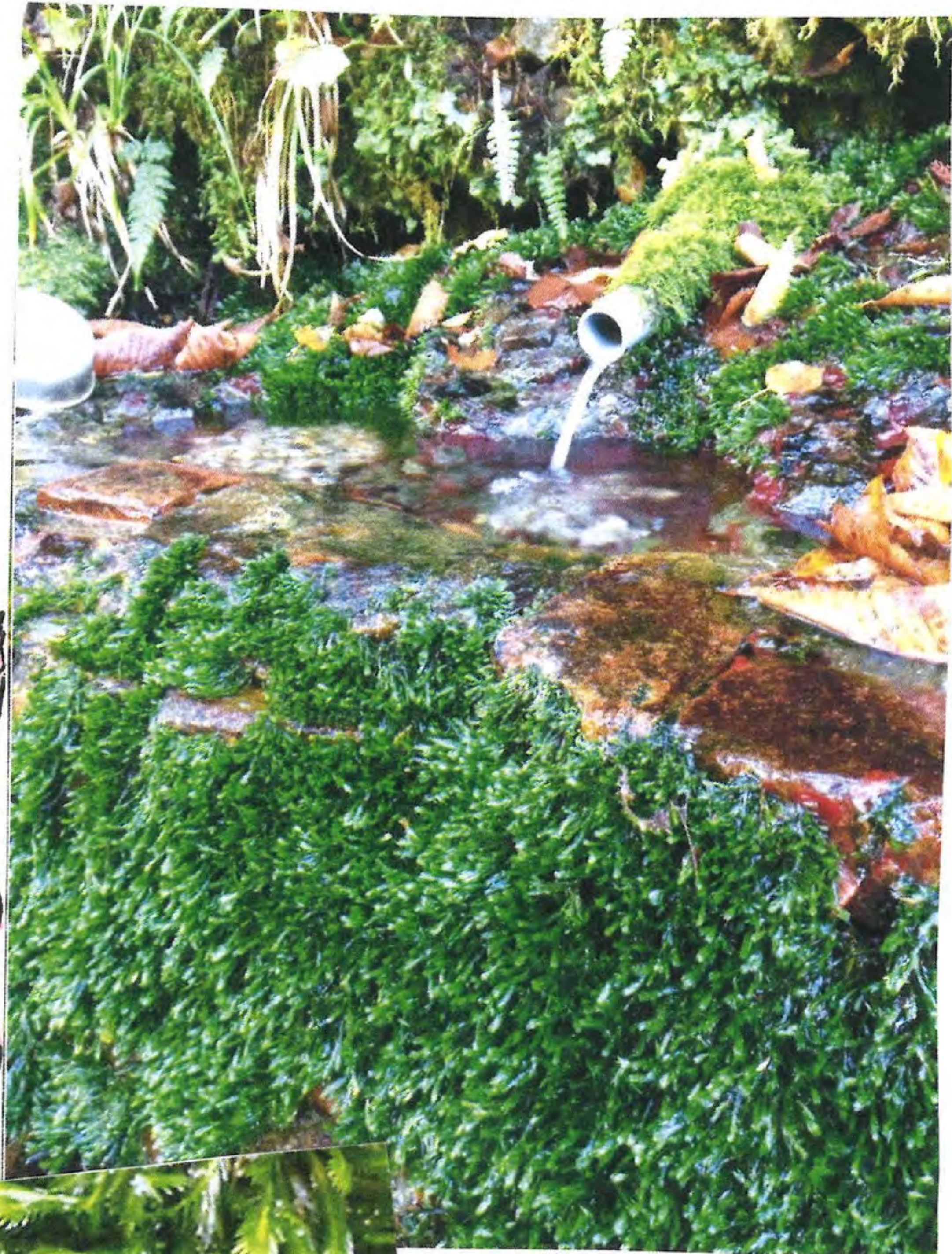
こち。

ホウオウゴケ

鳳凰のしっぽの羽に
似てるから。



きれいな湧水の周りに
びっしり生えてるホウオウゴケ



ホウオウゴケにも
何種類もがあります。
そのうち見分け
られるようになる
といいなあ。